



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1
www.aioinissaydowa.co.jp**【業界初】英国オックスフォード大学の AI ベンチャーと共同研究所を設立**
～最先端のテクノロジー&サイエンスによる研究開発で、損保ビジネスをアップデート～

2022年12月9日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）および当社の100%子会社であるAioi Nissay Dowa Europe Limited（以下、ADE）は、出資先のオックスフォード大学のAIベンチャーであるMind Foundry社（以下、MF）と、最先端のテクノロジー、サイエンスの研究開発活動を行う共同研究所「Aioi R&D Lab - Oxford」（以下、R&D Lab）を11月15日に設立しましたので、お知らせします。

1. 背景

近年、気候変動対応（カーボンニュートラル・脱炭素）の進展や技術革新の加速、ライフスタイルの変化等、これまでとは比較にならないスピードで事業環境が変化しており、企業の事業活動の在り方にも変革が求められています。

当社ではこのような将来の変化をチャンスと捉え、CSV×DX（シーエスブイバイディーエックス）を経営戦略の柱に据え、社会・地域課題の解決、新たな価値共創に向けて、世界中のパートナーとともに様々な協業を行っています。その一環として、MFと2020年10月にAI開発における分野で協業する資本業務提携を締結し、現在までAIを活用した危険運転パターン検知などのモデル開発を行ってきました。

MFとさらなる協業領域の拡大に向けて、テクノロジーとサイエンス領域で世界トップクラスのノウハウを持つオックスフォード大学の他のベンチャーや著名な教授陣と共に、従来の損保ビジネスにはない様々な社会・地域課題の解決に向けた研究開発を行っていくこととし、共同研究所を設立することとしました。

2. R&D Labの概要

会社名	<small>アイオイ アールアンドディー ラボ</small> ・登記名:Aioi R & D Lab <small>アイオイ アールアンドディー ラボ - オックスフォード</small> ・商用名:Aioi R & D Lab - Oxford	
所在地	・登記上の住所:7 th Floor, 52-56 Leadenhall Street, London EC3A 2BJ（ADE 本社） ・活動拠点:Ewert House, Ewert Pl, Summertown, Oxford OX2 7DD（MF オフィス）	
資本金	・資本金:約10百万ポンド(約17億円)	
株主構成	・持ち分比率:ADE77.27%、MF22.73%	
設立日	・2022年11月15日	
取締役会 構成メンバー	<small>マイケル カインツバウアー</small> ・会長:Michael Kainzbauer【ADE CEO 兼務】 ・社長:池上 淳一【ADE 社員兼務】 ・その他取締役3名(当社より2名、MFより1名)	
主な業務	・当社からの業務委託に基づく研究開発	
委員会	R&D戦略の協議を行う「Joint Advisory Board(アドバイザリー・ボード)」と研究開発の実務的な協議を行う「Joint Steering Group(ステアリング会議)」を設置します。	
チーフサイエンティスト	<small>スティーブン ロバーツ</small> Prof. Stephen Roberts【オックスフォード大学エンジニアリングサイエンス学部教授】 <small>マイケル オズボーン</small> Prof. Michael Osborne【オックスフォード大学エンジニアリングサイエンス学部教授】	

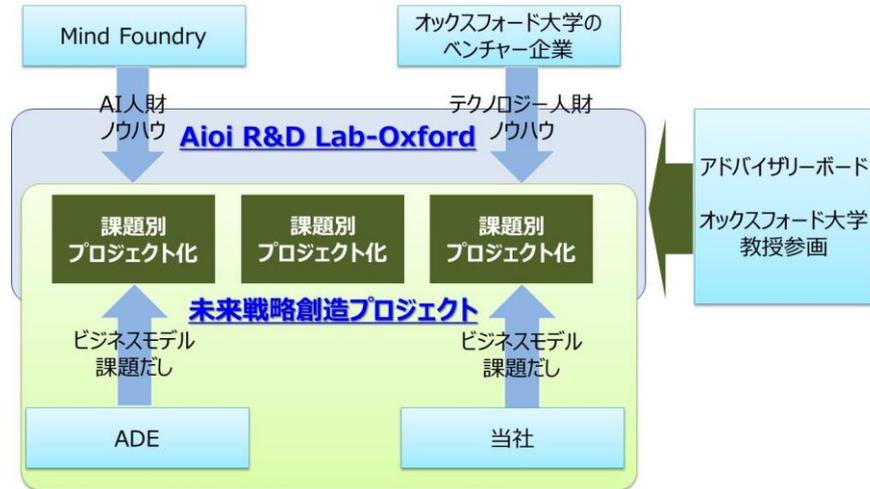
Advisory Board に参画する主なメンバー	当社	<ul style="list-style-type: none"> 山口 充 【専務執行役員、未来戦略創造プロジェクトオーナー】 白井 祐介 【常務執行役員】 矢澤 雅之 【未来戦略創造部長】 他 3 名
	ADE	<small>マイケル カインツバウアー</small> <ul style="list-style-type: none"> Michael Kainzbauer 【ADE CEO 兼務】 池上 淳一 【ADE 社員兼務】 他 3 名
	MF	<small>ブライアン マリンス</small> <ul style="list-style-type: none"> Brian Mullins 【MF CEO】 <small>スティーブン ロバーツ</small> <ul style="list-style-type: none"> Prof. Stephen Roberts <small>マイケル オズボーン</small> <ul style="list-style-type: none"> Prof. Michael Osborne <small>ダヴィデ ズイリ</small> <ul style="list-style-type: none"> Dr. Davide Zilli
	オックスフォード大学	<small>キャシー ウィリス</small> <ul style="list-style-type: none"> Prof. Baroness Kathy Willis, CEB 【環境分野】 同大学生物多様化教授。セント・エドムンドホール学長。貴族院・議員 <small>マルコム マカロック</small> <ul style="list-style-type: none"> Prof. Malcolm McCulloch 【エネルギー分野】 同大学エンジニアリングサイエンス学部教授。エネルギー・パワーグループ・グループリーダー <small>ポール ニューマン</small> <ul style="list-style-type: none"> Prof. Paul Newman 【ロボット/テレマティクス分野】 同大学 BP インフォメーション・エンジニアリング教授。旧オックスフォード・ロボット研究所所長。同研究所スピンアウト・Oxbotica 社(自動運転ソフトウェア)創業者兼チーフ・テクノロジー・オフィサー。英国首相科学アドバイザー <small>マイケル ウルドリッジ</small> <ul style="list-style-type: none"> Prof. Michael Wooldridge 【AI/コンピューター・サイエンス分野】 同大学コンピューター・サイエンス学部教授(2014-2021 年学部長) <small>ドーン ファーマー</small> <ul style="list-style-type: none"> Prof. Doyne Farmer 【複雑系経済/資産運用分野】 同大学ニュー・エコノミック・シンキング研究所複雑系経済学プログラム・ディレクター。数学研究所教授

3. R&D Lab の研究テーマ

領域	研究テーマ
自動車保険全般	次世代テレマティクスサービスの開発
	自動運転社会を見据えた保険サービスの開発
個人保険全般	テクノロジー活用により、健康ヘルスケア等の分野でパーソナライズドな保険サービスの開発
保険業務全般	AI・データファーストによる保険サービスの改革
その他	「環境」、「物流」、「防災」といった領域で、AI やデータなどのテクノロジーによる新たなサービスの開発

4. 推進体制

保険ビジネスの高度化に向けた研究開発の実効性を高めるため、当社の推進態勢として R&D Lab の取り組みをグローバルで進める国内外横断プロジェクト「未来戦略創造プロジェクト」(プロジェクトオーナー：専務執行役員 山口充)、専管部「未来戦略創造部」を中心に本取組みを進めていきます。



5. 今後の展開

当初の R&D Lab の取組みは、MF を軸に世界トップクラスのノウハウを持つオックスフォード大学の教授陣と領域毎の研究開発取組みを行うハブ機能として拡大していきます。そして、日本、英国、欧州のみならず、米国、シンガポールといったグローバル拠点との人財交流、研究テーマの深化を行っていきます。

また、R&D Lab の取組成果は国内の損保ビジネスを軸に、グローバル事業にも幅広く取り入れていくことで、テレマティクス自動車保険などの現在の先進的なサービスをバージョン 2.0 へアップデートし、更に先の自動運転社会などを見据えた社会・地域課題の解決を実現していきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組めます。

